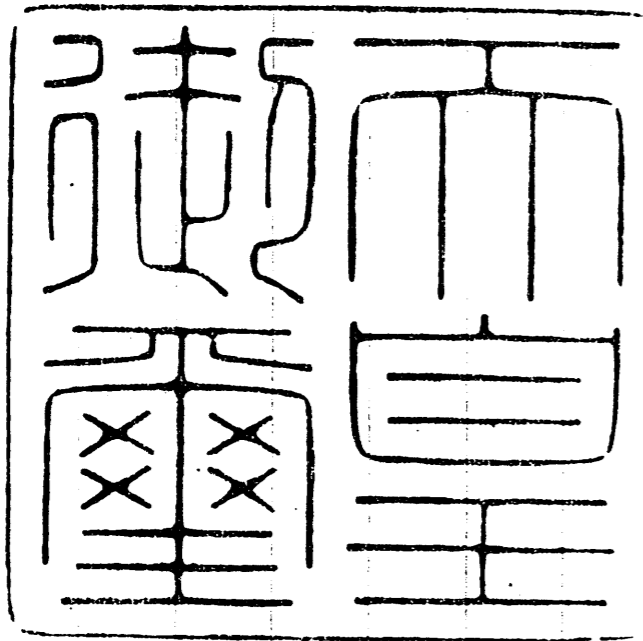


勅令第六百九十九號

朕海軍特別志願兵令制定ニ際シ海軍人事部令及海兵團練習部令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

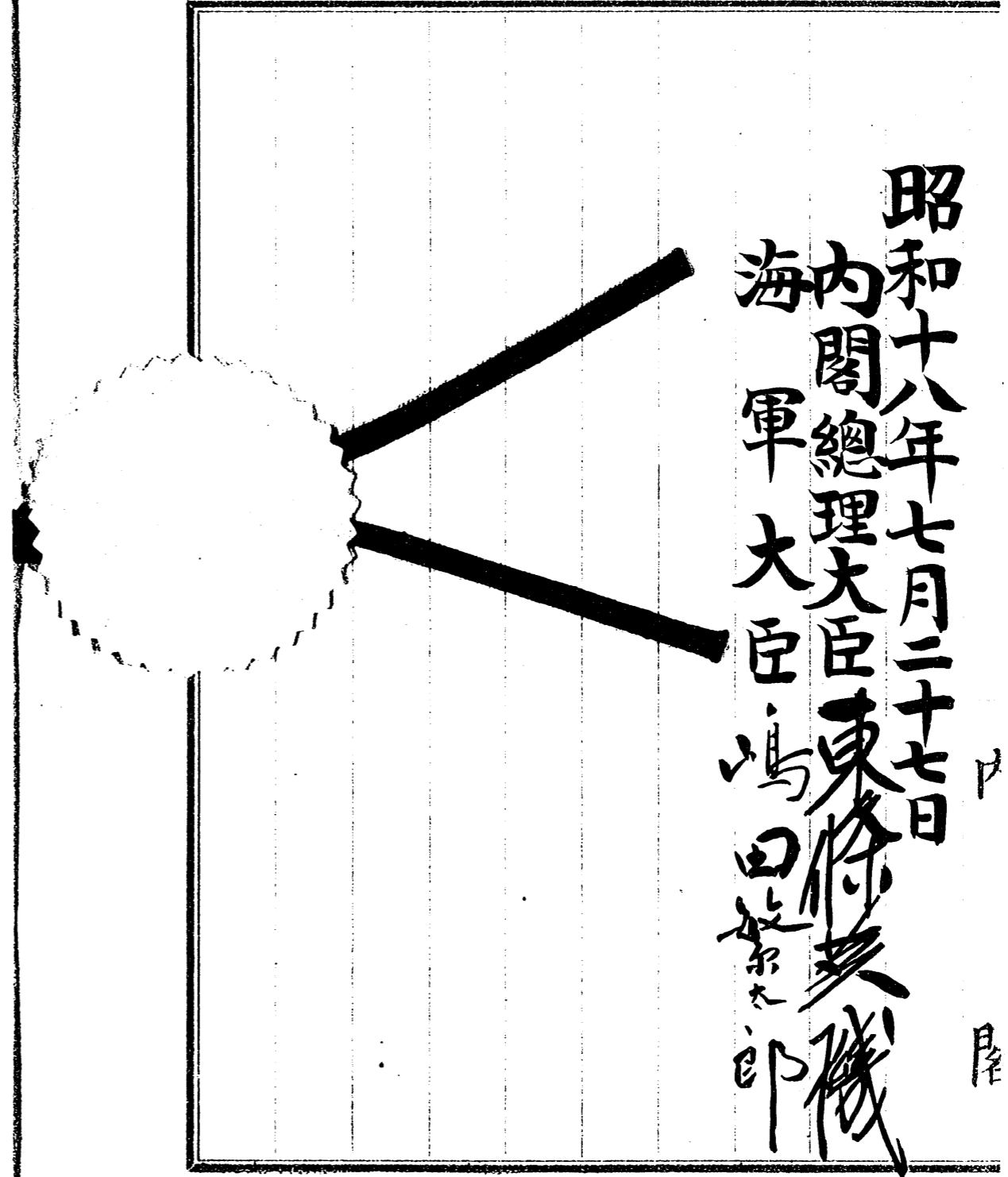


裕仁

昭和十八年七月二十七日

内閣總理大臣東條英機  
海軍大臣嶋田繁太郎

陸



勅令第六百九號

第一條 海軍人事部令中左ノ項改正ス

第一條第一項中「各軍港」ノ下ニ「鎮海及高雄要港」ヲ  
加フ

第二條及第三條ノ二中「海軍人事部」ノ上ニ「軍港ニ在ル」  
ヲ加フ

第二條ノ二 要港ニ在ル海軍人事部ハ當該管瀋府ニ屬シ其ノ  
所管ノ海軍特別志願兵故ニ同出身ノ軍人ニ擬スル前條第一  
號乃至第三號及第五號ニ掲グル事務ヲ掌ル

第四條第一項中「海軍人事部」ノ上ニ「軍港ニ在ル」ヲ、同  
條第二項中「地方海軍人事部」ノ上ニ「要港ニ在ル海軍人事

部及「ヲ加フ

第五條中「鎮守府司令長官」ヲ「當該鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官」ニ改ム

第八條中「鎮守府司令長官」ノ下ニ「又ハ警備府司令長官」ヲ加フ

第二條 海兵團練習部令中左ノ通改正ス

第一條第二項中「練習部」ノ下ニ「第三項ニ掲グル練習部ヲ除ク」ヲ加ヘ「海軍三等兵及四等兵」ヲ「海軍一等兵及二等兵」ニ、同條第三項中「前項」ヲ「前二項」ニ改メ同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

鎮海及高麗要港ニ在ル海兵團ノ練習部ハ海軍大臣ノ定ムル

所ニ依リ海軍特別志願兵タル海軍二等兵ノ教育ヲ掌ル

第四條及第九條第一項中「鎮守府司令長官」ヲ「當該鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官」ニ改ム

第八條中「海軍三等兵及四等兵」ヲ「海軍一等兵及二等兵」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス